

小笠原小学校 2025年度通学路安全点検結果:5件

| 番号 | 分類 | 通学路における危険箇所・住所 | 道路種 | 通学路の状況・危険の内容 | 要望事項 | 対策方針 |
|----|----|-------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 1 | 継続 | 山寺1045と山寺1055先交差点 | 県道 | 横断歩道はあるが、信号がなく、朝は通勤の車が多く、特に下りの車はスピードが出ているため危険。 | 押しボタン式歩行者用信号の設置。 | 横断歩行者が少なく、信号機の新規設置は難しい。 |
| 2 | 新規 | 桜橋東詰め交差点 | 市道 | 交差点に車用の信号しかなく、子どもたちに分かりにくい。朝の交通量も多く危険。 | 歩行者用信号の設置。 | 歩行者用信号の新設に向け、来年度のヒアリングに乗せる予定。 |
| 3 | 新規 | ウエルシア前横断歩道 | 市道 | 交通量が多く、信号がない横断歩道であるため、子どもたちだけで横断を判断するのに不安。 | 押しボタン式歩行者用信号の設置。 | 横断歩行者が限定的で、ボランティアの旗振りが来ている。車両の交通量も少ないため、信号機の新規設置は難しい。 |
| 4 | 継続 | 東洋カーボン西交差点 | 県道 | 東洋カーボンの塀があり、横断歩道はあるが信号がなく車がスピードを出しやすく、子供が渡るのに危険。見通しの悪い交差点で事故も多い。子どもたちの止まって待つスペースも狭くて危険。 | 標識などの設置。押しボタン式信号の設置。横断歩道の塗り直し等。 | 信号機が隣接しているため、連続しての設置が困難。横断歩道については補修依頼済 |
| 5 | 新規 | 楯形大橋 | 県道 | 補導のタイルが濡れると滑りやすく危険。タイルがはがれて穴が開いているところがある。 | 歩道の補修。 | 歩道のタイルがはがれている箇所を修繕しました。 |